

中野区基本構想審議会への提言

2019年5月30日

中野区基本構想審議会委員

東京商工会議所中野支部 米持 大介

① 産業支援拠点の設立・強化

【課題】 中野区・産業振興センター・ICTCOと、支援拠点が点在。

利用者にとっては、1か所でワンストップの相談を受けられる体制が望ましい。

【内容】 中野区役所（補助金助成金受付、創業認定申請、各種受付）

中野区産業振興センター（融資相談受付、区商連・中野工業産業協会・東商）

ICTCO（ICT・コンテンツ産業振興）

⇒点在している各種機能を1か所に集約し、産業支援拠点設立への方向性について示して頂きたい。

② 用途地域の見直し（住居系⇒商業・近隣商業等への変更）

【課題】 過去の区内用途地域地区の見直しにより、その多くが住居系に変更された。

この変更により、現在、住居系に位置する事業所にとって、事務所等の建て替えに制限がかかり、現状維持もしくは地区外移転をせざるを得ない状況に陥っている。

【内容】 約20年ぶりに東京都「都市づくりグランドデザイン」が改訂。

中野区においても、「中野」「中野坂上・東中野」が中枢広域拠点域（西部）として明記されている。

事業所数の減少に歯止めをかけ、にぎわいや活力ある地域づくりのため、今一度用途地域の見直しへの方向性を示して頂きたい

（関係部会：都市・防災・環境部会）